



日本のジャズ界の発展を支えた「ドクター・ジャズ」こと
内田修氏へ、想いを語るトーク&ライブ

内田修氏没後 10 年を迎えて Part 1

KEIKO LEE

トーク&ライブ

2026.12.12(土) 13:30開場 14:00開演
(12:30受付開始)

岡崎市図書館交流プラザ りぶら ホール

入場料 ¥3,000- (全席自由・小学生以下は無料) 定員 280名 (要事前申込み)

申込方法 ①お名前、②ご住所、③ご連絡先、④申込人数をお知らせください。
10月19日(月)より申込受付開始 (定員になり次第締切)

申込先 BLUE WAVE JAZZ FORUM 宛
FAX 0564-46-5622 E-mail bluewave-jazz@okazaki.cc



こちらからも
申込み可

入場料は当日、受付にてお支払いください。

※会場内の飲食は不可、写真撮影&録音録画禁止

※駐車場は限りがありますので、公共交通機関の利用や乗り合せのご協力をお願いします。

※車椅子でご鑑賞のお客様は、必ず事前にジャズの街岡崎発信連絡協議会までお問合せください。



進行:山東正彦 氏

KEIKO LEE ケイコ・リー (ジャズ・ヴォーカリスト／ピアニスト)

profile

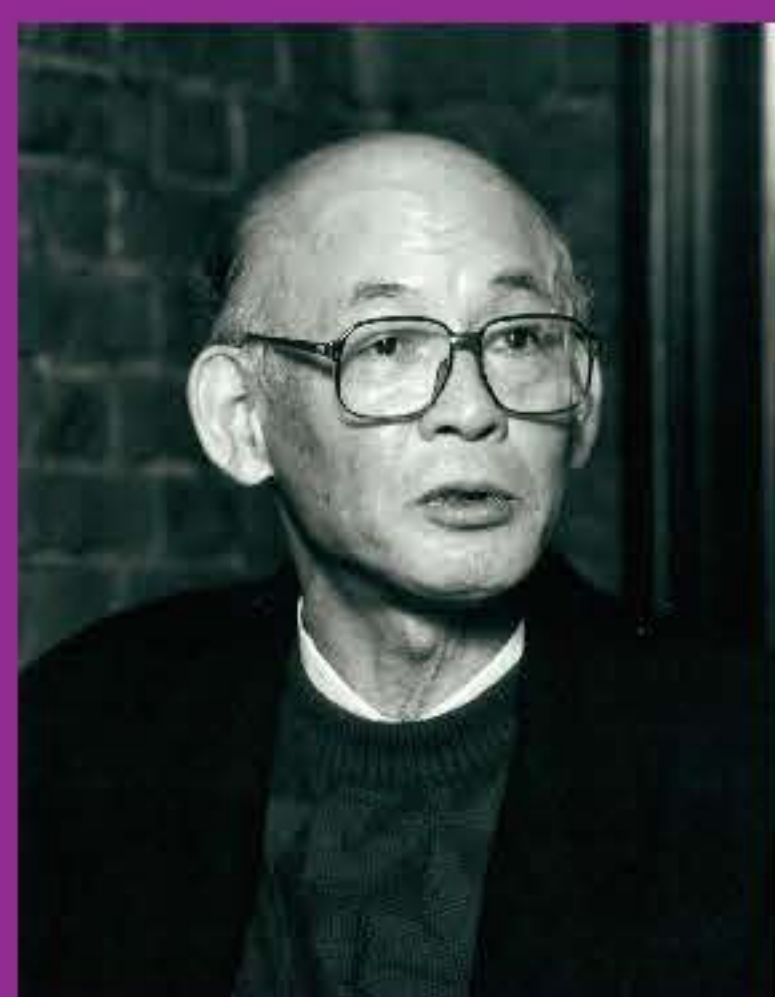


1995年のデビュー作『イマジン』以来、ライブ盤、ベスト盤を含む28枚のアルバムをはじめ、多くの作品をリリースしている。存在感のあるヴォーカル・スタイルとディープ・ヴォイスが評判を呼び、共演したミュージシャンから「楽器と対等に渡り合える歌手」と絶賛され、その即興性と瞬発力にすぐれたパフォーマンスの評価は高い。2001年、日産ステージCMソング『ウィ・ウィル・ロック・ユー』の大ヒットで幅広いファンを獲得。翌年に発表したベスト・アルバム『ヴォイセズ』は累計25万枚のヒット作となった。2003年、ジャズ専門誌主催「日本ジャズメン読者人気投票」では女性ヴォーカル部門の第1位（13年連続/通算15回）に加え、総合部門の頂点でもある「ジャズマン・オブ・ザ・イヤー」「アルバム・オブ・ザ・イヤー」の三冠の快挙を達成し、国内はもとより香港・台湾・韓国などアジア地域でも人気を博す。アルバムデビュー10周年を迎えた2005年には、長年の活動を支えてきたファンの声を反映したベスト盤、『ヴォイセズ・アゲイン』をリリース。2012年、国内外5人の男性ヴォーカリストとのデュエットで話題となった『ケイコ・リー・シングス・スーパー・スタンダーズ2』をリリース。2015年11月、アルバム・デビュー20周年記念アルバム『LOVE XX』をリリース。生誕100周年を迎えたビリー・ホリデイとのヴァーチャル・デュエットも収録され話題に。このアルバムはジャズ・ジャパン・アワード2015「アルバム・オブ・ザ・イヤー《ヴォーカル部門》」を受賞。2019年12月、アルバム『ザ・ゴールドデン・ルール』を発売。2020年10月、アルバム・デビュー25周年記念アルバム『ケイコ・リー・ライヴ・アット・ジャズ・イン・ラブリー』をリリース。2022年10月、4枚目のベスト・アルバム『ヴォイセズIV』をリリース。その他CM楽曲、TVドラマ主題歌などオリジナル作曲にも定評があり、また多重録音のヴォーカル・アレンジも自ら手掛ける等、多方面にて多彩な才能を発揮している。実力・人気ともに No.1 ジャズ・ヴォーカリストとして国内外でその地位を確立している。2025年10月、メジャーデビュー30周年を迎え、記念アルバム『ケイコ・リー・シングス・スーパー・スタンダーズ 3』をリリース。



山東 正彦 さんとう・まさひこ (元内田修ジャズコレクション ディレクター)

1939年名古屋市生まれ。ヤマハ株式会社名古屋店在職中よりジャズ関連の業務に携わりドクター・ジャズこと内田修氏との親交を深め、1964年から33年間、延べ150回に亘り開催された「ヤマハジャズクラブ」の立ち上げに参加。その後、本社にてオーディオ広報、管弦打楽器専門家対策業務などを経験し1992年より浜松市の「ハママツ・ジャズ・ウィーク」設立・運営を担った。退職後も数々のジャズイベント事業に関わったが、「内田修ジャズコレクション」が岡崎市に寄贈されたのを機会に、岡崎市美術館における企画・運営に携わり、その後岡崎市シビックセンターが実施するジャズコレクション保存整備活動事業のアドバイザーを経て、岡崎市図書館交流プラザ「内田修ジャズコレクション展示室」整備のため、コレクション主任専門員に就任し、ディレクターとして同コレクションの保存整備活動事業に従事した。現在は、NPO法人 BLUE WAVE JAZZ FORUM アドバイザー



ドクター・ジャズ
内田 修氏

内田修 ジャズコレクション展示室

岡崎市出身の外科医であり、日本のジャズ発展に尽力したドクター・ジャズこと故・内田修氏の膨大なコレクションを展示

「岡崎出身の一人の人間がジャズを愛し、中でも日本のジャズを生涯にわたって支援してきた活動全般の成果」という観点から、内田修ジャズコレクションを紹介しています。最初に出会ったジャズレコード、情報収集のため海外からも取り寄せた関係書籍、ミュージシャンとの厚い信頼関係を物語る楽器や譜面など貴重な資料の数々や、第一線で活躍する日本人ミュージシャンたちの証言映像は、内田氏とジャズとの深い関係がそのまま日本の戦後のジャズ史につながることを物語っています。



岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059
愛知県岡崎市康生通西4丁目71番地
TEL 0564-23-3100 (代表)
水曜日休館

ジャズの街岡崎HP
<https://okazaki-kanko.jp/jazz/>

内田修ジャズコレクションHP
<https://dr-jazz.jp/>



P 2時間まで無料、2時間超は30分につき100円

